



ふれあいのつどい

つな げんき
～みんなで繋ぐ元気の“わ”～

れいわ ねん がつ 11月18日 (土) 10:00～15:00
やえのさとこうえん (雨天決行)
@東大阪アリーナ・八戸の里公園 (メイン会場)

くわしくはこちら



よんく
ミニ四駆レーンであそぼう！



よんく
きみのミニ四駆を
もってきて走らせよう！

こ たいしよ
お子さま対象



しょうぼう ぼうかふく きねんさつえい
消防:防火服で記念撮影&
警察:交通安全教室を開催！

- ◎室内(大アリーナ)
- ・ポッチャ大会・体験
- ・輪投げ・的あてゲーム
- ・みんなでアート作品を作ろう
- ・ペンシルアートパルーン
- ・折り紙やボールで遊ぼう
- ・カラオケ大会
- ・ミニ四駆レーンであそぼう
- ・ふわふわ遊具
- ・障害理解啓発ブース など

- ◎室内(小アリーナ・武道場)
- ・車いすスポーツを楽しもう
- ・車いす介護体験 など

- ◎屋外(野外ステージ)
- ダンスや寸劇・歌などの発表
- 屋台(食べ物販売)・手作りの販売
- ◎消防・警察による理解啓発ブース

きょだい ゆうぐ
巨大ふわふわ遊具が
やってくる！



たいかい たいけん
ポッチャ大会&体験



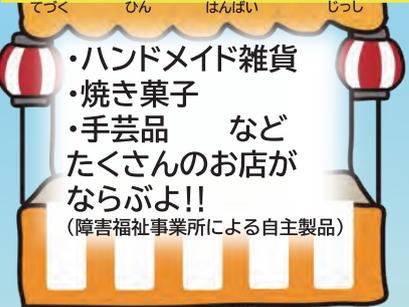
しょうぼう
トライくん&消防トライくん
があそびにくる！

はっぴよ
ステージ発表あり



くるま たいけん
車いすスポーツ体験！
(ウェルチェアスポーツ)

やたい た もの はんばい
屋台(食べ物販売)や
手作りの販売も実施！



令和4年度の障害者週間啓発ポスター最優秀賞

※「地域ふれあいのつどい」は東大阪市民の皆様へ障害者の特性について理解を深めていただくため、市内の障害者団体、施設、事業所などで活動されている方々で構成されている東大阪障害福祉キャンペーン実行委員会が運営しています。



メイン会場である東大阪アリーナ以外に、各地域にある障害福祉事業所等で交流できるイベントを用意しております。
興味がある方は誰でも参加できます。日時は、記載がなければメイン会場と同じ、**令和5年11月18日(土)10時～15時**です。
※地域会場の内容についてのお問い合わせは、各会場へ直接ご連絡ください。

1 (社福) 育永会

催し：「すぷらうと」にて野菜の収穫・焼き芋販売・ポッチャ体験・ネジの検品作業体験 など

会場：東大阪市善根寺町4-11-8
電話：072-929-8789 (野菜収穫のみ雨天中止)

2 (社福) 若草会

催し：「若草工房」にて駄菓子屋さん・体力測定をしよう！(10:30～14:30まで)

会場：東大阪市吉原2-3-12
電話：072-960-5400

3 一般社団法人 つどい

催し：「花園生活支援センター」にてものづくり体験・お菓子づくり体験

会場：東大阪市岩田町2-1-33
電話：072-966-8014

4 市立障害児者支援センターレピラ

催し：舞台発表・手話体験・コーヒーやクレープ・野菜などの販売

会場：東大阪市菱江5-2-34
電話：072-975-5713

5 (社福) ヤンググリーン

催し：「エバークリーン」にて美化活動をゲーム形式で楽しもう！(参加賞あり・10:00～11:30まで)

会場：東大阪市荒本1-4-32 (雨天時未定)
電話：06-6789-6171

6 (社福) ひびき福祉会

催し：メイン会場横にある「アクティビティセンターひびき」にてバザーなどを実施

会場：東大阪市中小阪5-14-23
電話：06-6732-1112

7-1 NPO法人 ぴよぴよ会 (高井田東小学校にて)

催し：お子さま向けサッカーイベント (雨天中止) (13:00～15:00まで)

会場：高井田東小学校
東大阪市長栄寺15-26
電話：06-6783-0404

7-2 NPO法人 ぴよぴよ会 (すばこキッチンにて)

催し：みんなが楽しめる縁日を開催！(11:00～14:00まで)

会場：「すばこキッチン」
東大阪市稲田上町1-8-8
電話：06-6783-0404



8 (株) 空と海 サンクエール

催し：讃岐うどん・焼き菓子の販売 (11:00～14:00まで)

会場：東大阪市小若江3-8-1
電話：06-6785-7673

9 (社福) 草の根共生会

催し：「蓮Ⅱ」にて焼き菓子・パン・ポップコーンの販売・ワークショップ など

会場：東大阪市長瀬2-13-10
電話：06-6727-8861

10 (社福) ゆう

催し：40周年記念イベント
バザー・ゲーム・音楽イベント・ご来場プレゼント企画 など

会場：東大阪市長堂3-22-22
電話：06-6784-7970

11 合同会社 デンドロビューム

催し：「インフィニティ」にて療育(ゲーム)体験をみんなで楽しもう など

会場：東大阪市菱屋西6-4-41-102
電話：06-4309-5885

12 一般社団法人 みーる

催し：「リカバリースペースみーる」にて玄米を使ったカレーライスの販売！【11/4開催・障害理解につながる朗読劇】

会場：東大阪市足代3-1-22
電話：06-6732-3210

13 合同会社 りんぐ

催し：「リライト」にて、手作り雑貨の販売
ゲームコーナー・事業所開放・コグトレ&学習支援体験 など

会場：東大阪市稲田新町2-14-7
電話：06-7508-3675

東大阪市 障害福祉キャンペーン実行委員会

～令和5年度 実施報告書～



実行委員会の位置づけ

～会則より～

(目的)

第1条 本会は、広く市民に対し、障害者への正しい理解を深めるための啓発活動等を行うことによって、**障害のあるなしに関わらず誰にとっても住みやすい社会の実現を目指して活動することを目的とする。**

(事業)

第2条 本会は、下記の事業を行うものとする。

- (1) 障害者理解の啓発に関すること
- (2) 障害者と健常者の交流に関すること
- (3) 障害者理解に係る情報提供に関すること



今年度の活動概要

● 障害者理解・啓発ポスターの募集・表彰

6月上旬より募集開始、12月の障害者週間にて作品展示、受賞作品の表彰

● 第40回地域ふれあいのつどいの開催

東大阪アリーナをメイン会場とし、地域会場として13事業所にご協力いただき同時開催

● 障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催

東大阪市役所（本庁）1階ロビーにて、12月4日～8日の間、
障害事業所から募ったアート作品の展示、手づくり製品の販売会、理解・啓発ポスターの展示を実施



第40回地域ふれあいのつどい～開催概要～

■ 開催期間：令和5年11月18日（土）10時～15時

■ 開催場所：メイン会場・・・東大阪アリーナ・八戸ノ里公園 ※雨天のため、一部変更

【変更内容】

野外ステージを大アリーナへ、障害者スポーツ体験は小アリーナから武道場へ（規模縮小）、
手作り製品の販売は小アリーナへ、来場者用飲食テントは強風のため撤去

地域会場・・・市内14か所で同時開催・13事業所参加

（※悪天候のため1か所中止・イベント内容変更あり）

■ 来場者：メイン会場・・・おおよそ 1,000名（当日配布した会場マップ数より）
地域13会場・・・おおよそ 1,400名（当日配布したシールやアンケート結果より）

■ かかった費用：メイン会場・・・813,302円（チラシ・のぼり等の作成、メイン会場のブース設営や諸経費すべて含む）
地域会場・・・320,733円（アンケートに記載された金額の合計）

■ 関わった障害事業所数： 大小アリーナ内・・・22事業所
手作り製品販売・・・15事業所
野外飲食販売・・・6事業所
地域会場 + α（地域会場と関わった事業所アンケートより）・・・25事業所



第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

メイン会場・大アリーナの様子

第40回目となる地域ふれあいのつどい。4年ぶりに開催となった会場は、たくさんの来場者で賑わいました。メイン会場では、午前中は悪天候に見舞われましたが、午後にかけて天気は回復し、お昼前には来場者が一番多く見られ、たくさんの方にお越しいただくことができました。特に大きな問題もなく、無事に終了することができました。



おりがみコーナー



手話体験



ボールでべつたんこ



ふわふわ遊具



ポッチャ大会



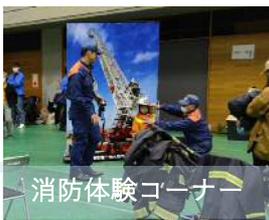
ミニ四駆大会



カラオケコーナー



手作り作品コーナー



消防体験コーナー



実行委員長挨拶



輪投げ・ボール転がし



ストラックアウト



第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

メイン会場・ステージの様子 (雨天のため場所変更)



ばあとなあによる
寸劇「ももじろう」



放課後デイサービス
によるダンス



野田市長挨拶



大阪商業大学高等学校
吹奏楽部の演奏

ふれあいのつどいステージプログラム



No.	出演者	内容	出演時刻
1	実行委員長挨拶・トライ!トライ!トライ!		10:00~10:05
2	ササカヤの昭和歌謡ショー	昭和歌謡メドレー	10:05~10:15
3	Haumanava (ハウマナヴァ)第1部	タヒチアンダンスと演奏・ハワイアンフラ	10:15~10:30
4	谷 通	ブルースハープ演奏	10:30~11:00
5	穂村愛莉とにゃんこマン	アイドル(歌、ダンス、MC)	11:00~11:10
6	Haumanava (ハウマナヴァ)第2部	タヒチアンダンスと演奏・ハワイアンフラ	11:10~11:25
7	山頂deおにぎり	バンド演奏	11:25~11:45
8	竹内獅子丸	津軽三味線演奏	11:45~12:00
9	オールハワイアンフラ	フラダンス	12:00~12:15
10	休憩		12:15~13:05
11	市長挨拶・トライ!トライ!トライ!		13:05~13:15
12	大阪商業高等学校	吹奏楽	13:15~13:45
13	放課後デイサービスルアナ	ダンス	13:45~14:00
14	特定非営利活動法人 ばあとなあ	ももじろうの劇	14:00~14:50



第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

武道場 (障害者スポーツ・介護体験) (雨天のため場所変更)

野外ブース・飲食販売 (6事業所参加)



車いす介護体験



高齢者疑似体験



叩いてボールあて



ボーリング



事業所名	出店内容
クリエイティブハウス バンジーII	綿菓子・おかきの販売
Gフレンズ	焼き芋・ジュース販売 (ペットボトル・缶)
新星 超新星	カレーうどん・ポップコーン
リープセンターひびき	焼き餃子・シューマイ・春巻きの販売
就労継続支援事業所こころII	八百屋 (野菜・くだもの販売) ・クレープ・ミニパフェ
キッチンOWL	焼きそば・フライドポテト・フランクフルト

第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

小アリーナ（手作り製品の販売）

（雨天のため場所変更・16事業所参加）



事業所名	出店内容
活動センターいっぽ	自主製品の販売（トルペインディング・さおり織り・布製品・ビーズ等）
Shop OWL	手作りの布製品
クリエイティブハウス パンジー-I	パン・焼き菓子
支援センターのぞみ	手芸品・クリスマスカード・一筆箋・衣類・雑貨の販売
就労継続支援B型オーブ	手作り製品（縫製品・編み物製品・フェルト小物・レジンアクセサリー・革製品等）
就労継続支援B型おさかな農園	事業所で栽培した椎茸・パーパリウムの販売
就労継続支援事業所JOYUS	小物販売（フェルトのおもちゃ・マスコット、ヘアアクセサリー、小物入れ）
ステップ・エステル	トライクんのTシャツ、阪神優勝バインアメ
スマイルプラスここにこ	ハンドメイド雑貨の販売
生活介護 六花	オリジナル雑貨・パーパリウム・バック・ミサンガ等の販売
はっぴいアイリス	シフォンケーキ・焼き菓子・ハンドメイド雑貨の販売
パレットひびき	せんべい・焼き菓子・縫い製品などの販売
布施若草園	授産製品（手芸品）・焼き菓子（パウンドケーキ）
フレンズ	手芸品・レジン製品
若草園わかば	紙製品・和紙製品の販売
地域活動支援センター ラン	工芸品（木材などの自然素材を利用したもの）

第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

～イベントを実施するにあたっての調整内容(事務局対応)～

【告知・広報】

- ・ポスターとチラシのデザイン作成
- ・出店内容や地域会場の内容取りまとめ
- ・業者へ発注
- ・市内の小学校へ配布依頼
- ・市政だよりやウェブサイト、SNSを使って告知
- ・各施設や駅、事業所へチラシの掲載依頼と配布

【メイン会場のブース】

- ・会場の下見と備品（机や椅子）の把握
- ・業者への依頼、価格交渉と見積もり合わせ
- ・設置・撤去などの業者打合せ
- ・椅子や机などの備品配置と管理
- ・運営スタッフの配置
- ・当日の対応や支払い

【ステージ】

- ・ステージ出演者の一般募集
- ・小学校や中学校、高校、大学への出演依頼
- ・ステージ音響業者との調整および打合せ
- ・司会者の依頼と原稿作成
- ・プログラムの作成や出演内容の取りまとめ
- ・タイムスケジュールの作成
- ・出演者の控室管理および当日運営スタッフのスケジュールリング
- ・司会や出演者の謝礼やお礼品の調達や管理

【前日準備】

- ・市民ボランティアの告知・募集・問い合わせ対応
- ・スタッフの確保と事前説明および資料作成
- ・備品の確認
- ・学校にボランティアの依頼および説明
- ・当日の集合時間からのスケジュールリング

【出店の管理（授産品販売）】

- ・出店希望事業所の募集
- ・内容の確認
- ・飲食関係の場合、保健所に届出
- ・運営における説明会の実施
- ・説明資料の作成と当日の場所決め
- ・備品（机や椅子）などの準備と場所の確保

【当日】

- ・不足品の確認と補充、購入
- ・スタッフ管理および控室管理
- ・来場者のけが人対応
- ・駐車券の対応
- ・各事業所の対応 等



第40回地域ふれあいのつどい開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

～前日準備と人手不足（当面の課題）～

学生・市民ボランティアを募集しましたが、数名しか集まらずスタッフの人手不足が問題となりました。

今回は西條実行委員長を筆頭に、実際に学校訪問し、先生方に交渉できたおかげでたくさんの学生ボランティアの協力を得て、前日準備・当日の運営を無事に行うことができました。

当日の運営は、事業所から各ブースを担当してもらう所もありましたが、市民・学生ボランティアの方々、市職員も参加しおよそ258名が力を合わせて実現した企画となりました。

前日準備		当日のスタッフ	
市民ボランティア	4	市民ボランティア	5
学生ボランティア（鴻池生活科学専門学校）	24	学生ボランティア	25
学生ボランティア（東大阪大学学生）	11	依頼したスタッフ（司会や要約筆記等、事業所以外）	27
実行委員（事業所スタッフ）	24	実行委員（障害福祉事業所の各ブースのスタッフ等）	155
市職員	10	市職員（福祉部・障害者支援室）	46
合計	73	合計	258

メイン会場のメリット・デメリット（アンケートより）

HIGASHI-HOSAIKA

【メイン会場の良かった点・メリット】

- 子どもが遊べる、楽しめるイベントであった
- 天候が悪くてもたくさんの人に来て、楽しんでもらった
- 今年はコロナのことあってイベントが心配でしたが、また来れてうれしい
- 障害理解に繋がる第一歩であった
- 色々な事業所の方と繋がる場となった

【メイン会場の見直すべき点・デメリット】

- 自閉症の子たちに全く配慮がない
- 中々、当事者とふれあう事に慣れていないので、参加しにくかった。
- 参加の仕方があまりわからなかった。説明不足。
- 食べ物ブースが少なかった
- 雨の対応について工夫が必要。天候が寒い。

【今後のヒント・助言】

- 手作り体験がしたい
- 自閉症の障害の方も出来る事
- 来年は食べ物をたくさんしましょう
- このフェスを知らない人が多かったのでもっと広めた方が良い
- 今日は、こーばへ行こう→レピラ→当館と来ました
- 会場を回れるシャトルバスがあればいい



第40回地域ふれあいのつどい・地域会場の概要

HIGASHI-HOSAIKA

令和5年11月18日・市内13か所に地域会場を設け、地域ふれあいのつどいを開催。初めての試みということもあり、各事業所に新たな発見やふれあい、前進がみられた会場もあれば、課題が浮き彫りになるなど、今後の運営の参考となる声もたくさんありました。雨天の為、一部中止の会場もありましたが、その他問題なく無事に終了しました。



No.	障害福祉事業所名	イベント開催内容 (雨天変更後の内容)
1	(社福)育永会	職業体験・ポッチャ体験・食品提供(うどん・フランクフルト・ポップコーン・コーヒー)・ゲームコーナー(コイン落とし・的あて) 野菜収穫体験
2	(社福)若草会	健康・体力測定、駄菓子屋
3	一般社団法人 つどい	モノづくり体験(ペーパーキリングでクリスマスカードづくり)、お菓子づくり体験(マシュマロビスケットサンドづくり)、喫茶(ジュース・お茶の提供)
4	市立障害児者支援センターレビラ	手作り製品販売(7団体)、舞台発表(5団体)、パネル展示(レビラ紹介)
5	(社福)ヤンググリーン	「Eバーグリーン」にて美化活動をゲーム形式で楽しもう! ⇒雨天のため室内ポッチャ体験に変更。
6	(社福)ひびき福祉会	バザー・千本釣りゲーム
7	①NPO法人 びよびよ会 ②NPO法人 びよびよ会	高井田東小学校にて、お子さま向けサッカーイベント⇒雨天のため中止 縁日(スーパースポーツ、ヨーヨー釣り)
8	(株)空と海 サンクエール	讃岐うどん・焼き菓子の販売
9	(社福)草の根共生会	くさのねっこちゃんまつり (焼き菓子・パン・ポップコーンの販売・ワークショップ など)
10	(社福)ゆう	40周年記念イベント (バザー・ゲーム・音楽イベント・ご来場プレゼント企画 等)
11	合同会社 デンドロビウム	療養紹介、お菓子釣り、ピジョンレーニング、ボールゲーム
12	一般社団法人 みーる	「リカバースペースみーる」にて、玄米を使ったカレーライスの販売!
13	合同会社 りんぐ	事業所開放、支援内容の紹介、手作りキーホルダーの販売

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

1. (社福)育永会 すぷらうと



【企画内容】

職業体験・ポッチャ体験・食品提供(うどん・フランクフルト・ポップコーン・コーヒー)・ゲームコーナー(コイン落とし・的あて) 野菜収穫体験

【参加者数】 法人内、地域の方合わせて70～90人程度

【かかった費用】 経費50,000円+職員人経費、光熱費(電気・水道)

【良かったと感じたこと】

自法人だけではこのような取り組みは行えなかったことを考えると、大変良い機会を頂けたと嬉しく思います。特に利用者の皆さんが地域の方をお迎えする側になれたことは大変良い経験になりました。



【地域とのふれあい⇒なかった】

理由：地域の事業所へ出店の提案メールを送付したが、認知度がまだまだ低いのか、返答がなかった。参加意欲の高まる案内方法等の改善が必要。地域の事業所や自治会、子供会等、地域で活動される集まりと協力する場があればいいと考える。



【参加を通じて感じたこと】

会場を盛り上げる工夫が各事業所で苦戦されたのではないと思う。人に集まってもらうには食を提供する必要性を感じたが、職員に大きな負担となる業務も発生し、キッチンカーを呼ぶ費用等の助成があれば、事業所説明や職業体験等の、本来やりたいことに注力できたと思う。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

2. (社福)若草会 若草工房



【企画内容】

健康・体力測定、駄菓子屋

【参加者数】70人 【かかった費用】3,000円

【良かったと感じたこと】

来場していただいた方々には少しでも障害者や施設の理解を得られたと感じているため、非常にいい機会であった。もっと多くの事業所が手を挙げ、様々な拠点でイベントを開催していくことが大切と感じる。来場者の近所で開催することで、より身近に障害福祉を知ることができ、地域住民との連携に繋がると考える。そのためには行政や関係機関の協力も得ながら、各拠点で魅力的なイベントを開催する必要がある。



【地域とのふれあい⇒あった】

【改善点】

改めて障害の認知度の低さを感じた。企画内容にもよるかもしれないが、待っているだけでは集客は見込めない状況であった。



【参加を通じて感じたこと】

事前のチラシ配布、当日ののぼりは出していたが、それだけでは人は来ないと感じた。(企画内容にもよるが)会場前に公園があり、そこで案内をし、多少の集客をえることができた。障害者施設はまだ一般の方には認知が低く、この度のような企画を通じて、施設内を知ってもらおうことで、幅広い障害福祉の理解に繋がれたらと期待したい。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

3. 一般社団法人 つどい 花園生活支援センター



【企画内容】

①モノづくり体験(ペーパーキリングでクリスマスカードづくり)
②お菓子作り体験(マシュマロビスケットサンドづくり) ③喫茶(ジュース等の提供)

【参加者数】①3人 ②9人 ③6人 計18人

【良かったと感じたこと】

利用者もサポーターとして参加したことにより、当日を盛り上げるためにどのようにしたらいいかをスタッフと一緒に考える機会となった。地域の方と交流する機会が少なく、今回のイベントを通じて交流・当事業所のことを知っていただく機会に繋がった。利用者も協力でき、普段では見ることができなかった利用者の一面(接客態度等)を知るきっかけとなりました。



【地域とのふれあい⇒あった】

【改善点】

悪天候もあり想像以上に来場者が少なかった。イベントの宣伝をSNS等を通じて市民の方に知っていたらと思う。天候が悪い場合の予備日の設定や、各事業所のアクセスについて改善点があると感じた。巡回送迎車などがあれば、障害者や高齢者、子ども連れの方などでも、複数の事業所を回ってイベントに参加できるのではないかとと思う。



【参加を通じて感じたこと】

今回初めての試みとの事で、ふれあいのつどいに来ていただいた方がどこまで地域会場の存在をご存じだったのか、認知度について伺える機会があれば教えていただきたい。他事業所の来場者数の統計などが知りたい。来場者が多かった事業所の取り組み内容や、事前の働きかけの部分を含めて。うまくいった事業所のモデルケースを知りたい。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

4. 市立障害児者支援センター レピラ

【企画内容】 授産品の展示販売（7団体）、舞台発表（5団体）、レピラの事業紹介パネル展、コーヒー販売や野菜の販売

【参加者数】 来場者約230人、関係期間の参加者170人、合計400人

【良かったと感じたこと】

初めてレピラに来た方が「こんな広い建物だったんですね」と感想を述べられていました。今回、全てではありませんが、レピラの貸室を利用されている団体や近隣の福祉施設や小中学校に声をかけ、参加を呼びかけました。参加機関のアンケートからは「楽しかった」「また次回も参加したい」との声もありました。アクセスのしやすさから参加してみようと思う一つの理由になったのではないかと思います。

【改善点】

今後の実施方法をどのようにするか検討が必要。障害者週間(12月)に合わせて行う場合、季節的に外出しにくい。地域開催することで、近隣の人や施設などの関係団体が参加しやすく、本来の趣旨である「啓発」には合っていると感じた。施設単独で行う力がある所と、単独実施はマンパワーや企画力の面から難しい所があると思われる。日常の中で小さな地域との繋がりが交流の積み重ねが、インクルーシブな世の中に繋がるのではないかと思います。地域のお祭やフェスタ、防災訓練等にも参加できると、自然と地域と顔を合わせる機会が増えると思う。

【地域とのふれあい⇒あった】

理由：近隣の福祉施設には全てではありませんが、声を掛けました。コロナ対策のため辞退されたところがあったり、繋がりが薄かったため、声を掛けられなかったり、課題が残りました。キャパシティを考えると今回の参加団体数や内容は適当と考える。規模が増えると、参加職員や場所を増やす必要性が出て、ハードルが上がってしまう。事業所同士の繋がりが、障害福祉に関わりがない市民との接点ができ、方向性としては良いと考える。具体的な方法について、更なる検討が必要。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

5. (社福)ヤンググリーン Will エバーグリーン

【企画内容】 雨天のため、室内ポッチャ体験
(本来は美化活動をゲーム形式で楽しもう)

【参加者数】 4名 【かかった費用】 9,211円

【参加・協力を通じて感じたこと】

もともと予定していた地域清掃には、自治会の方々も参加予定であったが、雨天のためポッチャとなり、参加者が少なかった。
ふれあいのつどいで地域の方々が行きたいと思える企画を考えるとともに、地域に認知される必要性を感じた。

【改善点】

ふれあいのつどいを企画しても、普段から施設が地域に馴染んでいないと地域の方々に参加してもらうのは難しいと痛感した。
普段のふれあいがあって、その延長で企画できるように検討していきたい。

【地域とのふれあい⇒あった】

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

6. (社福)ひびき福祉会 アクティビティセンターひびき

【企画内容】 バザー ・ 千本釣りゲーム

【参加者数】 70～80名

【参加・協力を通じて、感じたこと】

天気が悪かったことや宣伝不足で、メイン会場に参加した人が事業所へ来ることはほとんどなかった。参加したのは事業所のももとのつながりの人や法人内の家族、利用者だった。そのため、メイン会場に近いに関わらず、一体感はあまり感じられなかった。来年以降、メイン会場でチラシを撒くなどして、近くの事業所でも企画をしていることを広めていきたい。

【地域とのふれあい⇒あった】

【良かったこと】

法人内の石切にある事業所が、メイン会場は遠いので行きにくいことから、地域会場に参加して、とても楽しかったとの事。来年はもっとたくさんの利用者を連れていきたいとのことだった。日常的に事業所が近くにあって、利用者を連れて訪問することはほとんどないので、いい機会になった。地域ふれあいのつどいの成果の一つだと感じた。



地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

7. ぴよぴよ会 すだち

【企画内容】 縁日・・・スーパーボールすくい・ヨーヨー釣り
高井田東小学校にて、お子さま向けサッカーイベント【雨天の為、中止】

【かかった費用】 2,000円

【良かったと感じたこと】

今回、東大阪全体でお祭を行いました。天候が悪かった為か、なかなか来客も少なかったです。ですが、地域の方とのふれあいや交流もありましたし、接客体験などもさせていただき、貴重な体験をすることができました。今回参加したことで、地域の方々から、物品の寄付や景品の協賛もいただくことができ、大変助かりました。今後もこのような地域とのふれあいや人との繋がりを持てる機会を頂ければと思います。

【改善点】

今回参加させていただき、東大阪の中で点在して開催されている事のデメリットとして、規模が小さくなり、なかなか集客が少なかったように思います。一か所に開催している事業所が集まればやはり大きくなるので、来られる方にとっては色々な事業を一度に知ることができると思います。ですが、開催する側としては、準備はしやすかったです。



【地域とのふれあい⇒あった】

今回当施設内から、他の事業所の方のブースを出してくださったので、色々お話や今後の事（企画を合同ですること）等を計画させていただくことができました。また、当法人のことも地域の方に知っていただく機会となりました。今回参加させていただき、ありがとうございました。とても貴重な体験をさせていただくことができました。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

8. (株)海と空 サンクエール

【企画内容】 讃岐うどん・ 焼き菓子の販売

【参加者数】 3名

【参加・協力を通じて、感じたこと】

実際に、自身の子どものために事業所を探しているお客様もいたので、必要とされている人たちに事業所を知ってもらう機会になった。
年に一度ではなく、事業所をみていただく機会はもっとあっていいと感じた。



【地域とのふれあい⇒あった】【改善点】

来客されたお客様にシールを配ったり、事業所の説明をすることができた。
お客様から当事務所について、質問されたりもした。

事業所のスタッフで事前にチラシやシールを配ったりして来客を募ったが、雨のせいか、それほどの効果は感じなかった。
もう少し期間を延ばすか、イベントの知名度をあげていかなければならないと感じた。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

9. 草の根共生会

【企画内容】 くきのねっちゃんまつり

(焼き菓子・パン・ポップコーンの販売・ワークショップ など)

【参加者数】 おおよそ60～80名

【かかった費用】 199,522円

【参加・協力を通じて、感じたこと】

以前より、地域でおまつりやバザーなどを開催していたので、今年はその企画のひとつとして参加させていただきました。地域への周知にチラシの配布などを行い、地域の方へ「ふれあいのつどい」の一環として活動周知できているかどうかはわかりません。



【改善点】

周知の方法について、今回の市政だより等以外の方法がないか模索が必要ではないか。
今後に向けて、市のふれあいのつどい地域版のビジョンを明確にもらえる、「目的」「内容」がわかり、法人としてもビジョンに沿った形で協力できると感じた。

【地域とのふれあい⇒なかった】

周辺の事業所2カ所に声をかけたが断られた。
開催時期が、11月と各事業所のイベント等も重なっていたようです。地域の事業所を共同開催できることが、「地域力」を高めるひとつの取組みとして有用だと思われる。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

10. (社福)ゆう JDファクトリー



【企画内容】40周年記念イベント
(バザー・ゲーム・音楽イベント・ご来場プレゼント企画 等)

【参加者数】100～150人 【かかった費用】約50,000円

【参加・協力を通じて、感じたこと】

地域の方々にイベント開催のチラシ配布を行って、自治会の方と関係を持つことができた。これまでは、地域に関わりを持つことやイベントがなかったと感じました。イベントはでは、地域の方や医療機関、就労継続支援事業所、放課後デイサービスなど、多くの職員や利用者が来られて良かったと思いました。



【改善点】

来場者や演奏参加者に対して、あまりおもてなしができなかった点。事業所内で初めて開催するにあたり、衛生面や安全面で不安がありました。開催にあたり準備や地域の理解啓発をもっと前もって行っていればよかったですと感じました。



【地域とのふれあい⇒あった】

地域で障害者の方が当たり前で暮らしているために何が必要か、知ってもらうために何が必要か、他の事例を参考にしながら少しずつでも行っていければと感じました。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

11. 合同会社 デンドロビウム インフィニティ

【企画内容】プログラム(療育)紹介・お菓子釣り、ビジョントレーニング・ボールゲーム

【参加者数】4組 【かかった費用】2,000円程度

【参加・協力を通じて、感じたこと】

周知の認知が少なく、小学生は学校から配布はあったが、他の未就学児や地域への周知は甘かったように思う。来所してくれた方も利用者家族だけだったので、新しい人や地域のふれあいにはならなかったように思う。他施設のコミュニケーションもなかった。

【地域とのふれあい⇒なかった】【改善点】

周知が全くなかったように思う。出展していない事業所が多いなか、その事業所に来ている方は知らなかったように思う。イベント自体周知が低かったように思う。



地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

12. 一般社団法人みーる リカバリースペースみーる



【企画内容】

食堂でのカレー(甘口・辛口)の提供
食堂でスタッフ、利用者が働いているリアルを見てもらう場の提供

【参加者数】 20名程度

【参加・協力を通じて、感じたこと】

日頃の営業でのアナウンスが中心だったので、常連客が中心で、企画を知って障害者に興味があつての参加者はいなかった。放課後デイをしていたりするような場所が子どもと親が集まっている様子でにぎわっている印象があつた。販わっていたところも、そうでなかったところも、企画の趣旨のターゲットが訪問者であつたのか課題に感じた。



【改善点】

事前の告知として地域の小学校や支援学校などへの広報が効果的かと思った。

近くの事業所(地域会場)には、空いた時間を利用して遊びに行けたが、普段は休所日で限られた人員で運営していたので、自由に動ける時間があまり多く取れなかった。

【その他】

各事業所間でもお互いに交流のない事業所もあるので、その交流があつてもよいと思った。訪問者が次から次に施設を回るとは考えにくいので、1か所で事業所の紹介コーナーなどを設け、たくさんの事業所を知れる工夫があるとよかつた。周回タクシーの様なものがあればいいのかどうか。

地域会場の概要

～開催後、アンケート結果より～

13. 合同会社りんぐ リライト



【企画内容】

事業所の開放、支援内容の紹介、手作りキーホルダーの販売

【参加者数】 5人 【かかった費用】 5,000円程度

【参加・協力を通じて、感じたこと】

イベント集客の難しさを感じた。
子ども達が目標を持って、ものづくりに取り組むことができた。



【改善点】

サブ会場に近い小学校や幼稚園などにチラシを配布してもらいたい。
のぼりやポスターなど1か月前くらいにあずかされると、周知する期間が長くなって良い気がする。



【地域とのふれあい⇒あつた】

理由：今回は天候も悪く、気温も例年に比べて低く、風が強かつたため、近くの公園などにも人が少なく、来場いただけた方が少なかつたが、この日に向けてデイに通っている子供たちも目標を持ってものづくりに楽しむことができた。
人に話しかけるのが苦手な子がチラシを配りに行くことができた、良い経験になつたと思います。
キッチンカーを呼んでみたり、にぎやかにイベントができるといいなと思う。来年もぜひ参加したい。

【地域会場の良かった点・メリット】

- イベントを通じて交流が生まれ、事業所を知ってもらいきっかけとなった
- 利用者が地域の方を事業所にお迎えする機会となり、よかった
- もっと多くの事業所が様々な拠点でイベントを開催する大切さを感じた
- 障害福祉と関わりがない市民の方との接点があった

【地域会場の見直すべき点・デメリット】

- 認知度がまだまだ低い
- 地域に事業所や障害者を認知される必要性
- 集客がすくなかった
- 地域との交流がなかった
- イベント自体の知名度を上げる必要がある
- 周知方法の模索

【今後のヒント・助言】

- 人に集まってもらうには食を提供する必要性を感じた
- 日常の小さな地域との繋がりや交流の積み重ねが、インクルーシブな世の中に繋がる
- キッチンカーを呼んでみたい
- 周回タクシーの活用や運用



MEMO

障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

■ 開催期間：令和5年12月4日（月）～8日（金）10時～16時

■ 開催場所：東大阪市役所1階ロビー

■ 内容：
● 第40回地域ふれあいのつどいメイン会場にて完成作品の展示
● 芸術作品の展示
● 理解啓発ポスターの応募作品の展示
● 手作り製品の販売
● 理解啓発ポスターの受賞作品表彰式（令和5年12月7日（木）16:30～市役所1階ロビーにて）

■ 関わった事業所数：
● 芸術作品の展示・・・7事業所より全54作品を展示
● 理解啓発ポスターの応募作品の展示・・・9名応募あり、9作品を展示
● 手作り製品の販売・・・16事業所

【来場者アンケート抜粋】

- ・続けることに意義がありますし、障害者理解も少しずつではありますが、深まっていくことでしょう。
- ・他の人の絵を見て、出したいと思いました。
- ・作品の購入を検討したいと思いました。
- ・個性豊かであざやかな色使いで絵画等すばらしいと思いました。手作り作品もかわいらしく思いました。
- ・力強い！元気をもらえる。



障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA

障害者週間（12月3日～9日）にちなんで開催したアート展は、寒いなか来庁した方が、芸術作品をみたり、手作り製品の販売に興味を示し購入するなどの姿を見受けることができました。地域ふれあいのつどい終了後に、1か月も経たないうちに開催されたため内容の議論が難しく、可能な範囲での開催となりました。



障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA



地域ふれあいのつどいより

皆で作った作品の展示

地域ふれあいのつどいより



おりがみコーナー

第40回地域ふれあいのつどい
「みんなdeアート作品を作ろう」「おりがみコーナー」にて、
来場者の皆さんによりできあがった作品も、同時に展示。
多くの方に地域ふれあいのつどいを知ってもらう、きっかけを作りました。



みんなdeアート作品
を作ろうコーナー



障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA



アート展のブース



各事業所の作品



各事業所の作品



障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA



手作り製品販売ブース

【障害事業所による手作り製品の販売】
12月4日～8日の
5日間にかけて、
午前の部・午後の部と分けて、
16事業所が参加。



販売の様子



会場の様子



販売の様子



障害者週間（12月3日～9日）アート展の開催概要

HIGASHI-HOSAIKA



表彰式の様子

障害者理解啓発ポスター受賞作品 表彰式



受賞者の記念撮影



【障害者理解啓発ポスター表彰式】

実行委員により投票形式で表彰者を決定。表彰者には、
証書と図書券（最優秀賞3,000円分・優秀賞1,000円分）をプレゼントしました。
作品の応募者に参加賞として、トライくんキーケース・缶バッジを送付しました。

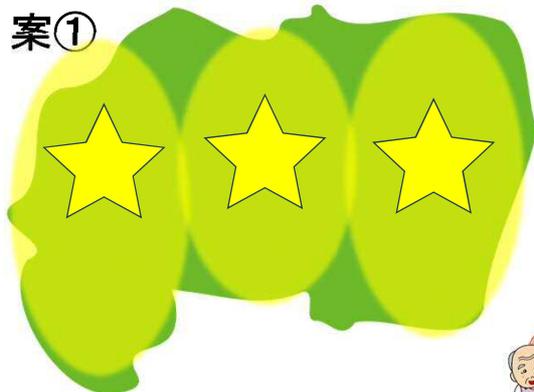
～地域会場の考え方～

○市内全域に対して会場を設け、月間で幅広く開催

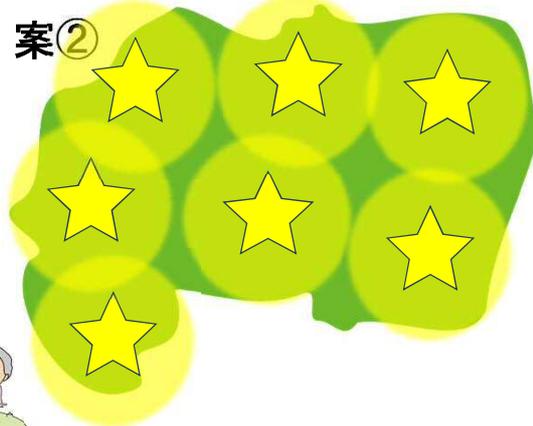
【例えば西・中・東の大きく分けて3つ】

【例えば7つのリージョンごと】

案①



案②



OR



～地域会場の考え方～

○事業所で開催する会場と、公共施設で開催する会場の概ね2種類を設定

○各会場ごとに部会を設け、企画内容を立案していただき、興味のある事業所が集う



(例1) 開場：市内の小学校グラウンド
企画：子ども向けサッカーイベントなど



地域部会A

(例2) 開場：市内の公共スポーツ施設や広場
企画：障害者スポーツイベントなど



地域部会B

(例3) 開場：市内の公共施設
企画：理解啓発に繋がるイベントの開催など



地域部会C

(例4) 開場：市内の障害事業所
企画：障害者が住みよいまちを作ろうイベントなど

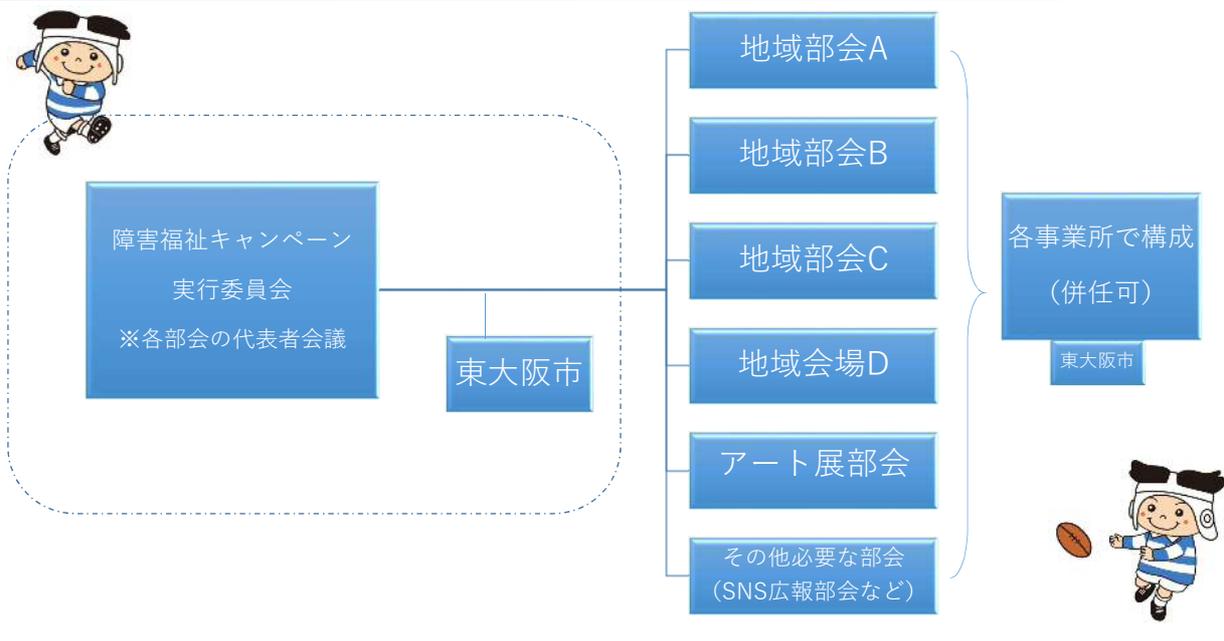


地域部会D

※各部会の進捗については、実行委員会にて経過を報告。(市は全体のとりまとめ、各部会サポート、事業所間のつなぎ役等)

障害福祉キャンペーン実行委員会の体制（案）

HIGASHI-HOSAIKA



今後について

HIGASHI-HOSAIKA

目的

広く市民に対し、障害者への正しい理解を深めるための啓発活動等を行うことによって、障害のあるなしに関わらず誰にとっても住みやすい社会の実現を目指して活動すること

令和6年度のコンセプト

地域ふれあいのつどい
(月間で開催)

×

障害者アート展
(障害者週間で開催)

地域の特性に合った福祉教育の理解と発展
⇒人と人がふれあう事による、住みよい社会の実現

東大阪시에根付く、障害者アートの芽を育てる
⇒文化・芸術を育み、多様性の理解による、住みよい社会の実現

